



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 スペースシャワーSKYAKIホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4838 URL <https://sssk-hd.com>
代表者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 林 吉人
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 小久保 知洋
配当支払開始予定日 — (氏名) 酒井 真也 TEL 03-6478-2394
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,427	13.0	1,737	143.1	1,791	147.6	1,046	273.0
	15,427	24.1	714	6.7	723	8.9	280	△30.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,091百万円 (383.4%) 2025年3月期第3四半期 225百万円 (△43.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	63.81	—
	16.81	—

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期第3四半期 一百万円 2025年3月期第3四半期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	17,088	8,791	50.9
	15,959	8,082	50.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,701百万円 2025年3月期 8,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2025年3月期期末配当金の内訳: 普通配当 10円00銭 記念配当 3円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一

除外 1社 (社名) コネクトプラス株式会社

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	17,029,205株	2025年3月期	17,029,205株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	677,524株	2025年3月期	488,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	16,399,861株	2025年3月期 3Q	16,684,983株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、エネルギー価格や生活必需品を中心とした物価上昇が個人消費の抑制要因となっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、引き続き活況を呈しております。一方で、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も見られ、価格帯や体験価値に応じた商品設計が求められております。また、AIやデジタル技術の進展により、コンテンツ制作や流通の在り方も変化しており、従来型のビジネスモデルからの転換と、多様化するファンニーズへの対応が重要な課題となっております。

このように多様化し、変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年4月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした、新たな企業体制を構築してまいりました。統合から1年が経過し、グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」初年度となる2026年3月期において、コンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて、持続的な発展を実現してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、株式会社スペースシャワーネットワークのイベント事業で、5月24日、25日に幕張メッセ国際展示場で開催した日本最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」にて約3万5千人を動員、8月29日から31日の3日間、中山湖交流プラザきららで開催した「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2025」にて過去最高となる約8万5千人を動員し、ともにチケット全日程、全券種完売での公演となりました。アーティストマネジメント事業では、所属アーティストのSuchmosが横浜アリーナで約6年ぶりの活動再開となるライブで約2万4千人の動員を記録し、レーベル・エージェント事業では、STUTSのリリース楽曲が大塚製薬「ポカリスエット」の新CM曲への採用されたほか、ハンバート ハンバートのリリース楽曲がNHK連続テレビ小説「ばけばけ」の主題歌に採用、第76回NHK紅白歌合戦に出場するなど、当社グループの企業価値向上に寄与しました。インフィニア株式会社が運営するエンタテインメントカフェ事業では、中京地区初出店となる「あつとほおーむカフェ名古屋大須本店」を2店舗同時に開業するなど、継続的に事業を拡大しております。株式会社SKYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan PRO」「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が151.6万人（前年同期比11.8%増）、サービス数が1,661（前年同期比32.0%）と好調に推移しました。また、株式会社SPACE SHOWER FUGAが提供するディストリビューション事業においても、音楽配信売上などが好調に推移しております。スペースシャワーエンタテインメントプロデューシング株式会社が群馬県との共同で開催している『GFEST. 2025』は、今年で3年目を迎え、11月22日、23日の2日間で約2万人を動員しました。

これらの取り組みの結果、売上高は17,427,149千円と前年同期比1,999,861千円増（同13.0%増）となりました。また、各段階利益につきましては、営業利益は1,737,312千円と前年同期比1,022,800千円増（同143.1%増）、経常利益は1,791,319千円と前年同期比1,067,801千円増（同147.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,046,405千円と、前年同期比765,903千円増（同273.0%増）、EBITDAは2,197,463千円と前年同期比1,010,582千円増（同85.1%増）となりました。なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

①コンテンツセグメント

ライブハウス事業やエンタテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、稼働率、来場者数とともに好調に推移いたしました。また、イベント事業においては、前年同期に台風影響によるチケット払い戻しを行っておりましたが、今期は「POP YOURS」「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」がチケット完売で無事開催され、さらに、アーティストマネジメント事業とレーベル・エージェント事業で、前年同期と比べ大いに活発となった所属アーティストの公演収益拡大により増収増益となりました。

この結果、売上高は9,122,546千円と前年同期比1,153,948千円増（同14.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,344,738千円と前年同期比664,071千円増（同97.6%増）、セグメントEBITDAは1,562,011千円と前年同期比699,441千円増（同81.1%増）となりました。

②ソリューションセグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上と著作隣接権売上が好調に推移し、プラットフォーム事業でのストック収益であるファンクラブ売上とフロー収益のEC売上が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は8,304,603千円と前年同期比845,912千円増（同11.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は392,412千円と前年同期比357,214千円増（同1,014.9%増）、セグメントEBITDAは635,290千円と前年同期比309,626千円増（同95.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定が189,342千円、のれんが70,255千円、顧客関連資産が108,750千円、繰延税金資産が140,049千円減少した一方で、現金及び預金が834,217千円、受取手形及び売掛金が516,941千円、その他(流動資産)が55,015千円、建物及び構築物などの有形固定資産（建設仮勘定を除く）が200,118千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,128,935千円増加し、17,088,870千円となりました。

負債は、短期借入金が50,100千円、未払金が679,771千円減少した一方で、買掛金が154,980千円、未払法人税等が351,154千円、預り金が395,459千円、その他(流動負債)が182,027千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ419,419千円増加し、8,297,250千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより自己株式が149,147千円増加した一方で、利益剰余金が831,371千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ709,515千円増加し、8,791,619千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2025年11月13日に公表の2026年3月期通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	6,489,456	7,323,674
受取手形及び売掛金	3,113,989	3,630,931
商品	43,977	88,689
仕掛品	147,303	155,808
貯蔵品	8,420	8,437
その他	575,939	630,954
貸倒引当金	△72,781	△57,194
流动資産合計	10,306,307	11,781,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,170,430	1,447,235
機械装置及び運搬具	12,787	10,287
工具、器具及び備品	660,680	715,163
土地	52,640	52,640
リース資産	3,320	19,767
建設仮勘定	192,542	3,200
減価償却累計額及び減損損失累計額	△885,382	△1,030,498
有形固定資産合計	1,207,019	1,217,795
無形固定資産		
のれん	1,217,767	1,147,511
顧客関連資産	1,885,000	1,776,250
商標権	72,186	62,724
ソフトウエア	483,123	498,213
ソフトウエア仮勘定	10,778	20,909
その他	5,199	7,872
無形固定資産合計	3,674,054	3,513,481
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	43,758
敷金及び保証金	436,081	416,125
繰延税金資産	208,046	67,996
その他	88,685	50,781
貸倒引当金	△4,018	△2,371
投資その他の資産合計	772,553	576,292
固定資産合計	5,653,627	5,307,569
資産合計	15,959,934	17,088,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,449	2,277,429
1年内返済予定の長期借入金	66,400	16,300
リース債務	760	3,073
未払金	1,214,928	535,157
未払法人税等	113,444	464,599
預り金	2,591,100	2,986,560
賞与引当金	292,348	249,962
役員賞与引当金	39,044	86,121
その他	637,516	819,544
流動負債合計	7,077,994	7,438,749
固定負債		
リース債務	321	14,639
退職給付に係る負債	522,577	534,707
役員退職慰労引当金	31,322	36,302
繰延税金負債	214,890	202,492
その他	30,724	70,358
固定負債合計	799,836	858,501
負債合計	7,877,830	8,297,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,819,382	5,819,382
利益剰余金	2,302,452	3,133,824
自己株式	△202,471	△351,619
株主資本合計	8,019,362	8,701,587
非支配株主持分	62,741	90,032
純資産合計	8,082,104	8,791,619
負債純資産合計	15,959,934	17,088,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,427,288	17,427,149
売上原価	11,318,964	12,147,832
売上総利益	4,108,323	5,279,317
販売費及び一般管理費	3,393,812	3,542,005
営業利益	714,511	1,737,312
営業外収益		
受取利息	970	4,540
受取配当金	991	1,811
為替差益	—	25,166
受取和解金	—	17,026
業務受託手数料	435	—
償却債権取立益	6,409	—
雑収入	5,112	8,821
営業外収益合計	13,918	57,365
営業外費用		
支払利息	1,565	964
為替差損	2,530	—
持分法による投資損失	102	—
支払手数料	—	1,447
雑損失	715	945
営業外費用合計	4,913	3,358
経常利益	723,517	1,791,319
特別利益		
固定資産売却益	130	15
投資有価証券売却益	113,633	6,000
ゴルフ会員権売却益	—	8,063
特別利益合計	113,763	14,079
特別損失		
固定資産除却損	1,963	308
事務所移転費用	48,903	—
構造改革費用引当金繰入額	278,531	—
その他	4,498	—
特別損失合計	333,897	308
税金等調整前四半期純利益	503,383	1,805,090
法人税、住民税及び事業税	233,861	585,807
法人税等調整額	△39,029	127,651
法人税等合計	194,831	713,459
四半期純利益	308,551	1,091,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,050	45,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	280,501	1,046,405

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	308,551	1,091,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,748	—
その他の包括利益合計	△82,748	—
四半期包括利益	225,803	1,091,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,753	1,046,405
非支配株主に係る四半期包括利益	28,050	45,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

2025年4月1日を効力発生日として、株式会社SKYAKIを吸収合併存続会社、コネクトプラス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、第1四半期連結会計期間よりコネクトプラス株式会社を連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	402,112千円	389,895千円
のれんの償却額	70,255	70,255

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,968,597	7,458,690	15,427,288	—	15,427,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	506,412	67,345	573,758	△573,758	—
計	8,475,010	7,526,036	16,001,047	△573,758	15,427,288
セグメント利益	680,667	35,198	715,865	△1,353	714,511

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△1,353千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	680,667	35,198	715,865	△1,353	714,511
減価償却費 のれんの償却額	181,902	220,210	402,112	—	402,112
セグメントEBITDA (注) 4	862,570	325,663	1,188,234	△1,353	1,186,880

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式交換により株式会社SKYAKIの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ソリューションセグメントにおいて7,756,257千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式交換により株式会社SKYAKIの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、ソリューションセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,299,511千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,122,546	8,304,603	17,427,149	—	17,427,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	710,354	151,404	861,759	△861,759	—
計	9,832,901	8,456,007	18,288,909	△861,759	17,427,149
セグメント利益	1,344,738	392,412	1,737,151	161	1,737,312

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等161千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	1,344,738	392,412	1,737,151	161	1,737,312
減価償却費	217,272	172,622	389,895	—	389,895
のれんの償却額	—	70,255	70,255	—	70,255
セグメントEBITDA (注) 4	1,562,011	635,290	2,197,302	161	2,197,463

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。